社明運動のシンボルマーク

保護司会報

吹田

発　行

吹田地区保護司会

吹田市泉町１丁目３番40号
吹田市役所福祉総務室
電話 6384-1815（直通）

▲吹田操車場（昭和38年頃）

新年のご挨拶

吹田地区保護司会 会長　**福 永 哲 哉**

新年明けましておめでとうございます。

皆様お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は地域で更生保護活動に尽力を賜り、地域の安心・安全な街作りに寄与されていることに、心より厚く御礼申し上げます。

今年度、新会長を賜り、家村前会長と同様、会員のみなさまと共に、当地区保護司会をますます発展させる決意で取り組んで参ります。何卒よろしくお願いします。

吹田市は今年度、市制施行80周年を迎え、中核市へ移行して、ますます発展が期待されています。心よりお祝いを申し上げます。

さて、今年度は、新型コロナウイルスの脅威が瞬く間に市中感染へと広がりました。新型コロナウイルスは人と人との接触で感染が増大するため、人が密になる場面を避けることが発表されました。ロックダウンなる言葉が聞かれ、公共交通機関での通学や通勤が感染を拡大するとの報道で、自宅での学習やリモートワークが行われる事となりました。

昨年度の２月例会では新役員の選挙が終わってから、それ以降の例会の開催が新型コロナウイルスの感染拡大防止を考慮して中止の判断をしました。それ以降、管外研修は中止が決まり、保護司会の方針を決定する定期総会は書面開催というかたちで今年度の活動方針、昨年度の活動報告等を承認しました。

新型コロナウイルスにより社会生活に変化が起こり、感染防止に徹する生活様式へ慣れていかなければならないことになってきました。密を避けるため、保護司会は自粛してきましたが、９月に入り広い会場を使用して初めての理事会を開催する事となり、今年度の初めての会合が開かれ、当地区保護司会の活動をスタートさせました。しかし、例会の開催は11月に初めての開催になりました。

10月に開かれた大阪更生保護大会はコロナ禍の中、北摂ブロックが担当して豊中市文化芸術センターで感染防止対策を徹底して、人数を絞っての開催でした。大きな大会をこのような状況で、知恵を出し、力を合わせることで表彰された方々をお祝いすることが出来ました。

表彰を受けられた方に心より祝意を表します。

今年度はコロナ禍のために人と人との触れ合いが制限される社会になっておりますが、Withコロナの中で人と人のつながりを大切にしながら、安心・安全な社会を目指して、皆さんと力を合わせてまい進して参りますので、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員みなさま並びに関係各位のご健勝ご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

吹田市長　**後 藤 圭 二**

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

吹田地区保護司会の皆様方におかれましては、日頃から犯罪予防活動や更生保護活動を通じた青少年の健全育成など、本市の安心・安全のまちづくりに格別のご貢献を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、社会活動が停滞し、皆さまの保護司活動にも大きな影響を及ぼしました。例年実施している「社会を明るくする運動」におきましても、感染予防の観点から駅頭啓発や市民集会を中止し、可能な範囲での啓発活動という形でご協力いただきました。あらゆることに自粛を求められている状況下においても、保護司の皆様には、啓発活動や、更生に向けた活動にご尽力いただいておりますことに、重ねてお礼を申し上げます。

さて、本市では令和2年4月に市制施行80周年を迎え、中核市として新たにスタートいたしました。大阪府から移譲された権限を存分に生かし、市民の皆様にとってより身近なところで暮らしをお支えしてまいります。

本市のさらなる飛躍が期待される今、引き続き、関係機関・団体の皆様と連携を深め、犯罪や非行のない明るい地域づくりを進めてまいりますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、吹田地区保護司会の皆様方のますますのご健勝、ご活躍と、本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますことを心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

新年の御挨拶

大阪保護観察所長　**鈴 木 庄 市**

吹田地区保護司会の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられましたことを、心よりお慶び申し上げます。また、吹田地区の更生保護活動に当たっては、保護司会のみならず、地方公共団体をはじめ関係機関・団体の皆様からも多大なるお力添えを賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年を顧みますと、年明けの頃は東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運の高まりが見られましたが、その後、新型コロナウイルス感染症が猛烈なスピードで世界中にまん延し、社会の様相が一変してしまいました。また、日常生活の多くの場面でマスク着用が求められる等、これまで誰も経験したことがない「新たな日常」の幕開けを予感させる一年でした。

更生保護の活動に目を転じてみますと、昨年は感染症予防のために保護観察対象者等との面接の機会が奪われ、また、様々なイベントが中止を余儀なくされたところです。

一方、このような状況を乗り越えるため、更生保護の活動においても「新たな日常」に対応する様々な試みが始まりました。保護観察処遇においては対面による接触以外の方法が工夫され、また、保護司研修等においても、いわゆる「三密」を回避するために参加人数を大幅に削減し、テレビ会議システム等の情報通信機器を用いた形で研修を実施する等、多人数の参集を求める方法ではなく、文字や音声・動画により必要な情報を個別に配信する等の方法が工夫されました。

今日の社会は大きな時代の転換期を迎えていると思います。大阪保護観察所といたしましても、刻々と変化する社会状況を見据え、本年も吹田地区保護司会の皆様とともに、「新たな日常」における更生保護の在り方を模索して参りたいと思いますので、倍旧の御理解と御支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

新年のご挨拶

吹田地区更生保護女性会 会長　**住 吉 比和子**

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

吹田地区保護司会の皆さまにおかれましては、ご家族さまお揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素は、当会の活動に格段のご理解ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年より未曾有の「コロナ禍」の状況が日々変化している中、新しい生活様式を取り入れる事が不可欠となって参りました。そのような中、当会の活動も更生保護ボランティアとして、次代を担う青少年の健全育成に努め、矯正施設や更生保護施設への援助協力、子育て支援、見守り活動など引き続きおこなっております。会の年間活動を報告、周知の為４月には「更女だより」を発行し会員や関係団体に配布する予定で準備を進めている所でございます。

ところで、昨年吹田市制施行80周年を迎えられ更生保護女性会も後藤市長より感謝状を賜りました。これもひとえにこれまで支えて来られました会員の皆様を始め保護司会や関係機関・団体の温かなご指導ご支援の賜と心より感謝申し上げます。

本年も何ができるのかを問いかけながら更生保護に軸足を置き、249人の会員一同心を一つにして精進して参りますので、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、保護司会の益々のご発展と会員の皆さまのご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせて頂きます。

新年のご挨拶

吹田BBS会 会長　**由 上 大 祐**

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、お健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また当会の活動につきまして、ご指導ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

本年も吹田BBS会発展に全力を尽くし、皆様のご期待に添うよう努力いたす所存です。

旧年は新型コロナウイルスの影響で社会が急速に変化し、そして新たな生活様式が生み出され、移り変わってきました。

また、小中学生の間でもSNSなどのコミュニティサイトの普及によりいつでも、どこでも、誰とでも会話できるようになった一方で、対面での会話が少なくなり、文字や画面越しでの会話が多くなってきた様に感じます。

10代は心も身体も子どもから大人に成長していく激動の時期になります。そのため、精神的にも不安定になりやすく、自分でストレスに気づかず溜め込んでしまうこともあります。ストレスを自覚せずに放置をすると、うつ病を発症するリスクが高くなります。

我々にできることは温もりと優しさで包み込み、子どもたちと同じ目線に立ち、相談できる関係を築けるよう努めることと思っています。

また今年度も保護司会の皆様にはお力添え賜ることもあると思いますが、これからも精進してまいりますので、一層のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の終息を願うとともに吹田地区保護司会の皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

各ブロックだより

第1ブロック（第三中学校、第五中学校、第六中学校）

第1ブロックはJR以南地域で、JR吹田駅、新しくできた南吹田駅、阪急吹田駅を有する旧市街地です。現在、13名の会員で活動ています。

以前より中学校との連携を深めるため、中学校区ごとにその地域に住む保護司が中学校との情報交換会を行い、中学生の現状や学校の取り組み、地域の非行防止等について情報の共有を図っています。

本年はコロナ禍のため、今までより活動が限られる中、地域各種団体と連携を取りながら、夜回りパトロールや地域の諸行事へ役員として参加するなど、青少年の健全育成や地域安全の街作りの一助にと幅広く活動しています。

これからも、ブロックの会員同士のコミュニケーションを大切にしながら情報交換、相互の連携を深めて参ります。

第2ブロック（第一中学校、豊津中学校、豊津西中学校）

当ブロックは、閑静な住宅に囲まれた第一中学校、江坂駅を中心に東に豊津中学校、西に豊津西中学校があります。

江坂駅周辺は、高層ビルが立ち並び繁華街として昼夜を問わず賑わっております。

少し離れますと住宅街となりマンション、一軒家の古い町並みへと新旧が入り交じっているのが特徴的です。

今年度は、コロナ禍の影響により、ブロック研修・中学校との連携勉強会等の事業は何も行えず、ブロックのメンバーとの交流が無く非常に残念でした。

10月からサポートセンターが再スタートし、こちらの当番だけがメンバーの協力の下、運用されているのが唯一のブロック連携作業となりました。

次年度は、このコロナ禍が治まり、通常通りの事業が行え、より一層の連携となることを祈念しましてブロックだよりとさせていただきます。

第3ブロック（佐井寺中学校、片山中学校、第二中学校）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域での多くの行事が中止となり、保護司が参画する機会も大きく減少しています。社会を明るくする運動では、ミニ集会で中学校の校長先生に講師をお願いすることも多くありましたが、今年は残念ながら開催できませんでした。また、これまで第3ブロックでは定期的に情報交換会を開催し、各保護司の担当ケースについて報告、意見交換を行ってきました。これが各自大変参考になり、保護司活動のプラスになっていましたが、これも開催できずにいます。その中で、各自パトロールや見守り活動に参加し、学校や子ども達とのつながりを保つよう努めています。片山中学校では、保護司、青少年指導員、少年補導員と中学校の教諭とが定期的に連絡会議を開催し、生徒指導に関する具体的な情報交換を行い、地域と学校が協力して子ども達を見守る取り組みを続けています。3月と5月は開催できませんでしたが7月から隔月で開催しています。学校との連携、子ども達との交流は保護司にとって大切な要素だと考えています。

第４ブロック（千里丘中学校、山田中学校、山田東中学校、西山田中学校）

第４ブロックは、西山田中学校、山田東中学校、山田中学校、千里丘中学校の４校区で在籍保護司は、現在14名です。地域的には、北山田・西山田から東にかけて摂津市・茨木市までの地域になります。住宅環境としては、古い町並みとマンションが混在している状態です。スーパー・コンビニ・居酒屋等はありますが、繁華街はありません。まだマンションが新しく建設されているところもあります。保護司の活動としては、残念ながら新型コロナウイルスにより会議・行事等すべて中止となっています。

例年、７月に社会を明るくする運動として、JR千里丘駅と阪急山田駅において、啓発活動や各地区で校長先生や警察関係者に依頼して講演会等ミニ集会を行っています。また11月に４中学校から校長先生・教頭先生に参加いただき、情報の交換会をしています。各地区においては、地域教育協議会・青少年対策委員会等に参加して活動しています。またブロックで年に３回程度研修会、情報交換会を行っています。

第５ブロック（南千里中学校、高野台中学校、竹見台中学校、古江台中学校、青山台中学校）

第５ブロック（南千里中学校、高野台中学校、竹見台中学校、古江台中学校、青山台中学校）

５つの中学校を抱える当ブロックは、14名の保護司が更生保護活動に取り組んでいます。

中学校との交流も年々深まりつつあります。今年は更に交流を深めて行く予定でありました。

実施に向けてのアプローチとして、７月９日第５ブロック代表中学校の校長先生を尋ね、打ち合わせを行いました。色々な対策を考え、マスク着用、消毒、検温、３密ソーシャルディスタンス、参加人数の調整、実施の時間帯等々話し合い11月下旬に実施予定を計画していましたがコロナ感染者増加の傾向にある事と、定例会後第５ブロックの保護司の中で話し合った結果、今年度は中止せざるを得なくなりました。そのことをブロック代表中学校長に伝え両者で中止を決定する事となりました。

更生保護サポートセンター吹田

更生保護サポートセンター吹田では、企画調整保護司が常駐し、保護観察対象者との面談のほか、保護司会の各種会議や、更生保護に携わる各団体の会議等に活用されています。

更生保護サポートセンター吹田へのアクセス

〒565-0862
吹田市津雲台１丁目２番１号
千里ニュータウンプラザ５階
電　話　06-6836-7311
FAX　06-6836-7391

開所時間

月曜日 ～ 金曜日〈土・日・祝・年末年始は除く〉
午前10時～午後４時
※ 保護司業務に関する研修等で臨時に休所する場合があります。相談等で来所される場合は、事前に電話予約をお願いします。

各部だより

総　務　部

部　長　池　田　　昭

総務部は各部の業務が円滑に進むとともに、緊密に連携出来るように支援するなど、会全体の庶務的な業務と保護司会運営に係わる各種会議の運営を受け持っています。

具体的には理事会、例会、総会などの会議が円滑かつ効果的に運営出来るよう事前打ち合わせを行い、司会進行等を行っています。そして、会員相互の情報共有と連携を密にするとともに、会員の皆様から御意見をお聴きし民主的な会の運営ができるよう配慮していきます。

とりわけ当会の運営の大きな方針を決める理事会等では、各部会の要望を聴き役員の皆さんと共に予算案、事業計画案を作成し総会で諮るとともに、内容を十分理解し議論いただけるよう資料作成を事務局と行っています。今年度は、千里ブロック保護司交流会の当番地区ですので有意義な意見交流が出来るように事務局と準備を進めています。また、北摂ブロック保護司会会長会議の当番地区になればその準備、運営と、また他地区からの視察があれば、事務局と連携を取りながら準備を進めていきます。このように総務部は保護司会全体が円滑に機能するよう努めています。

終わりになりましたが、諸先輩方が築いてこられた吹田地区保護司会の良き伝統をこれからも引き続き、事務局と連携し部会の皆さんとともに更生保護活動に頑張って参りたいと思いますのでよろしくお願いします。

研　修　部

部　長　奥　田　照　久

研修部の活動は、例年４回の統一研修の運営、年３回の自主研修や春と秋の管外研修の企画・運営があります。特に自主研修や管外研修では、年間３～４回の研修部会を開き、会員の様々な悩みや関心に沿うようなテーマを考え、専門性の高い講師に依頼できるよう取り組んできました。

本年は、コロナ禍で管外研修は春・秋とも中止、統一研修は自習という形で２回実施、自主研修はテーマや講師も限られた中での取り組みになります。研修部会がなかなか開けないため、部会を開く前に研修内容の希望アンケートを取り、様々な意見を踏まえて検討しています。今後とも対象者に寄り添った保護観察活動を推進するため、会員の資質向上を図る研修内容の充実に努めて参ります。皆様のご協力をお願い致します。

広　報　部

部　長　津　田　郁　夫

広報部会は、10月５日から、新型コロナ感染防止の為に止まっていた活動を再開しました。ただ、多くの活動が自粛されたので例年のような報告事項が記載できないため、困惑の中での編集会議となりました。部員の皆さんが、知恵を絞る中、吹田市が、市制80周年であることに着目した記事が書けないかということになりました。「温故知新」といわれる諺を、紙面に表現するには、どうすればよいか等と熱心な論議が出来ました。事務局の方がたも編集作業に協力いただけるという力づよい言葉にも励まされ、コロナ禍で変わる日常に負けず、新たな活動への転換点として位置づける勇気が湧いてまいりました。広報誌は、紙面によってつながる絆の大切さとネットでは消えがちな情報を多年に渡って残せる活動と考えて邁進していきます。皆様からの心に響く記事やお話をお寄せいただければ幸いと存じます。

組　織　部

部　長　田　淵　真　人

組織部の役割は大きく分けて４つあります。１つめは保護司定例会の参加者を増やすことです。以前から熱心に取り組んでいただいたおかげで、現在は多くの保護司の皆様に定例会に参加していただくようになりました。２つめは在任年数５年未満の保護司対象の情報交換会の開催です。参加者の中には、まだケースを持たれていない方や、経験が少ない方も多くおられ、ベテラン保護司の経験談を聞いたあと、悩んでいることや困っていることを発表して助言をもらい、以降の活動の参考にしていただいています。３つめは各種関係団体との連携強化で、吹田地区更生保護女性会、吹田BBS会との情報交換会を開催し、皆様にはBBS会員へのケース協力依頼を進めていただくようお願いしました。４つめは就労支援、特に協力雇用主に関する部分で、コロナ禍で協力雇用主会が開催中止になりましたが、皆様にもっと協力雇用主を活用していただけるよう、今後も努力していきたいと考えています。

執行部の紹介

役員改選により、令和２年４月１日から新しい執行部がスタートしました。

任期は令和４年３月31日までです。

２年間どうぞよろしくお願いいたします。

会　長	福永　哲哉	会　計	本田　智教
副会長	吉川　英次		小寺　博之
	廣瀬　惠美子	監　事	住吉　比和子
	田原　元宏		中村　清
	向山　昭憲		
総務部	部　長　池田　昭		
総務部	副部長　木田　昌宏		
研修部	部　長　奥田　照久		
研修部	副部長　佐藤　朋子		
広報部	部　長　津田　郁夫		
広報部	副部長　木村　公一		
組織部	部　長　田淵　真人		
組織部	副部長　古川　真一		

吹田地区を担当して思うこと

大阪保護観察所 保護観察官　**狭　霧　由美子**

吹田地区保護司会の皆様には，平素から更生保護の諸活動に対し格別のお力添えを賜り，心から厚く御礼を申し上げます。

最近の保護観察の状況を見ますと，保護観察の両輪である指導監督と補導援護において，補導援護の重要性が年々高まりつつあります。

補導援護は，保護観察対象者が自立した生活を営むことができるようにすることを目標として行われるものです。保護観察の援助的・福祉的側面ともいえるものですが、就労支援などがその代表的なものです。

本年４月から吹田地区を担当させていただき，当保護区の保護観察対象者は，比較的家庭環境が整った人が多いという印象を持っています。しかし，そうした中にあっても，日々の生活費を得るため，また，生活習慣を整えて犯罪から遠ざかるために，早急に就労する必要性が高い対象者が散見されます。保護司の先生方におかれましては，そうした点を考慮いただき，ケースに応じて通常の指導監督に加え，就労支援に力を入れていただいているところであります。就労先については，吹田保護区内だけでも登録されている協力雇用主数は14社を数え，建築業だけではなく，販売業，福祉事業等，幅広い業種の企業にご参加いただき，年々充実してきております。

犯罪の６割は３割の再犯者によって惹き起こされるといわれています。そして，犯罪を犯した人が立ち直るには，安定した仕事と，周囲の人との良好な人間関係が重要であることは，これまでいわれてきており，学術研究の結果としても示されているところです。周りとの良好な人間関係を築けるようになることと就労の安定は，再犯防止の両輪ですが，独立した要素ではなく，相互に強く関連しています。

全体の犯罪数を減少させるためには，私たちが担当している対象者の再犯をいかに防止するかが重要であり，世論の更生保護に対する期待の高まりも必然的といえます。そして，就労支援は，そうした再犯防止のための取組の一つです。

私は本年４月から吹田地区を担当させていただいておりますが，担当後，数か月にわたり新型コロナウイルスの影響で，先生方には多大なご負担をおかけしました。そうした活動しにくい状況にあっても，熱心に指導監督・補導援護に取り組まれる先生方のお姿を拝見し，こうしたすばらしい地区で仕事をさせていただけることを誇りに感じております。

今後ともお世話になりますが，どうぞよろしくお願いいたします。

保護司だより

ご縁と絆を大切に

名誉保護司　**松廣屋　冨美子**

保護司の委嘱を受けて26年の間に縁のあった保護観察は、交通・万引・窃盗・詐欺・覚醒剤・性犯罪等で、年齢は15歳から55歳まで、中には発達障がいのある人も担当しました。どの事例も背景にある境遇は、様々に苛酷なものでした。

当初は、表情固く寡黙に緊張している対象者に明るく笑顔で対応し、真心と愛情で接するうちに、心の内を話し出す気持ちに傾聴して信頼関係の絆が出来ました。

保護観察は、本人の人生の大切な分岐点。一人で変わるのは困難であり、保護司と出会って更生し、幸せな人生を生き直して欲しいとの一念で、真摯に心に寄り添い応援しました。

とり分け、多数担当したのは少年事例でした。いずれも信じ難い厳しい生い立ちには、さぞや辛かったろうと心が痛みました。心の底の深い傷を癒すことなく更生は望めません。両親の不仲・離婚・片親・経済的困窮等による家庭機能不全を受け留め理解して、親子双方にある心の葛藤や誤解を除くために、根気よく「心のかけ橋」となり、親子関係の調整・修復に尽しました。甲斐あり親子のコミュニケーションが叶う頃、共々に明るくなり将来を夢見る姿に接し安堵しました。

親とのある日突然の別離は子供の心に傷を残します。どんな親も世界でオンリーワンです。

保護司の経験が、家庭裁判所の調停委員の離婚調停でも子供への配慮、面会交流や養育費支払いをしっかり訴えることが出来ました。

コロナ禍の大変な時代ですが、円満な家庭環境の中で子供の心が安定し、少年事件の減ることを切に願っております。

本人のために

保護司　**田　中　　実**

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で緊急事態宣言が出されました。感染拡大防止のために学校では臨時休校となり、企業等では在宅勤務やリモート会議などが導入されました。

保護司活動においても、会議や研修等の中止、更生保護サポートセンターの休所、面接方法など状況に応じた対応でありました。

私が保護司になったきっかけは、職場がある地域の保護司さんからの推薦でした。その保護司さんは、保護司活動以外にも青少年の健全育成に関わる取り組みや福祉活動にも尽力され、地域活動に貢献されている方で信頼できる方でした。お話をいただいたときはとても重要な役割で責任もあり、私が出来るようなことではないと初めは思いました。しかし私も職業柄、青少年の健全育成に携わっていましたので、お役にたてれるならばと前向きに考えました。

また、定年退職を迎えるにあたり、今まで仕事が忙しく、地域にもほとんど貢献できずにきていましたので、何かお手伝いが出来たら光栄だなとも思い引き受けました。

委嘱を受けてから少し間があきましたが、ケースの依頼がありました。実際依頼があってすぐに面談ということでしたので、研修の資料を読み返し、「保護司のてびき」より面談方法や書類の確認をしました。

具体のことが見えなく不安でしたが、保護観察所から書類が届き、そこで初めて何をするのか、どのように進めるのかがはっきりとわかりました。まだ数回しか面談をしていませんが、本人のためにこれからも一緒に悩んだり考えたり、人生のお手伝いをしていきたいと思っています。また、安全で安心な地域社会を築くために、しっかりと役割と担っていきたいと思っています。

歴史探訪　吹田の霊泉

名誉保護司　佐々木　進

▲「泉殿霊泉」

清和天皇の貞観11年（869）、摂津国次田里一帯（現・吹田）が未曽有の旱魃で、池も川も枯渇し、また疫病が流行り多くの人々が苦しんだ。その頃、平安京でも同じように旱魃で疫病が流行し、賀茂川の河原が死者で溢れた。そこで祇園社が、疫病退散を願うため、播磨国の廣峯神社から牛頭天王（須佐之男命）が勧請せられることになった。お迎えの一行が播磨国から平安京まで向かう途次、暫く三國川（現・神崎川）にとどまり神輿が次田の泉殿宮の地にお立ち寄りになった。里人が喜んで神に祈りを捧げたところ、境内の涸れた泉から忽然として水が噴き出たという。これによって、その後、泉は『霊泉』と呼ばれ、今もその姿を境内の一隅に遺している。明治22年（1899）、境内の湧水をドイツ・ミュンヘンの研究所に送り、水質を検査したところ、ビール醸造に適しているとの結果を得た。これによって、現アサヒビール吹田工場の操業が始まったという。

因みに、泉殿宮の霊泉は、垂水の滝・佐井の清水と共に、吹田の三名水の一つに数えられている。

▲泉殿宮社殿、霊泉（左端）

令和２年度受賞者

法務大臣表彰を受賞して

吹田地区保護司会　副会長　田　原　元　宏

令和２年度大阪更生保護大会において、法務大臣表彰を受けて光栄に存じます。

思い起せば平成11年、当時の会長から推薦され、思案の末受けました。その重責をひしひしと感じ努めてこられましたのは、大阪保護観察所を始め関係各位の先生方のご支援による賜物と感謝申し上げる次第でございます。保護観察においては、熱意と根気と同一の目線を念頭に置いて、これからも励んでいきたいと思っています。まだまだ至らない点ばかりですが、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

藍綬褒章を受章して

吹田地区保護司会　相　賀　　勝

この度の藍綬褒章受章にあたり、お礼の言葉を申し上げます。

私は平成９年１月に大阪市東淀川区で保護司を拝命し、20数年に亘り更生保護活動を行って参りました。その間いろいろ苦労もありましたが、この度関係機関ならびに保護司の皆様のおかげで昨秋褒章をいただき、本年１月に無事退任する事になりました。

在職中にご協力賜りました皆様方には厚くお礼を申し上げます。

今後複雑多様化する厳しい時代を迎え、保護司の活動範囲もますます多岐に亘ることと思いますが、保護司の皆様ならびにご家族関係者様には、これからの繁栄とご多幸を心からお祈り申し上げます。

最後になりましたが、関係各位に長きにわたり大変お世話になり、真に有難うございました。

◆◆◆ 吹田市のあゆみ ◆◆◆

昭和15年	（1940年）	吹田市誕生
昭和27年	（1952年）	吹田市保護司会創立
昭和28年	（1953年）	吹田市に三島郡新田村を編入
昭和30年	（1955年）	吹田市に三島郡山田村を編入
昭和37年	（1962年）	千里ニュータウン第１期入居
昭和39年	（1964年）	吹田地区更生保護婦人会創立
昭和45年	（1970年）	日本万国博覧会、吹田BBS会創立
昭和52年	（1977年）	国立民族学博物館開館
昭和60年	（1985年）	文化会館（メイシアター）開館
平成６年	（1994年）	総合運動場オープン
平成11年	（1999年）	吹田市保護司会から吹田地区保護司会へ改称
平成16年	（2004年）	吹田地区更生保護婦人会から吹田地区更生保護女性会へ改称
平成20年	（2008年）	吹田地区保護司候補者検討協議会設置
平成21年	（2009年）	旧西尾家住宅が国の重要文化財に指定 吹田地区協力雇用主会創設
平成22年	（2010年）	吹田市と就労支援に関する協定書を締結
平成27年	（2015年）	「EXPOCITY」グランドオープン 更生保護サポートセンター吹田開所
令和元年	（2019年）	健都のまちグランドオープン
令和２年	（2020年）	吹田市制80周年

歴代会長より

第11代吹田地区保護司会 会長（平成16年（2004年）～平成20年（2008年））　並　田　十　作

全国的に、コロナ禍で、苦境の中で、先頭に立ってガンバッテおられる保護司の先生方には、何かとしんどいと思いますが、ガンバッテ頂きたいと思います。
皆様方もガンバッテ頂きましたら何かの変化があると思います。よろしく。

第12代吹田地区保護司会 会長（平成20年（2008年）～平成24年（2012年））　内　山　実　嗣

新年、明けまして、おめでとう御座います。
この度、会報に投稿しては、とのお誘いに当方82歳ですが、思い出を綴る事と致します。
保護司会定例会では、個人的に困ったことや、些細な質問をする機会が少なく、不安ながらの活動が有りがちでした。地区活動中に細部に渉る話合いこそが保護司活動に必要と感じて、少しばかりの予算も計上し、打ち解けた保護司活動に持って行けた事を想い出します。また、協力雇用主の理解開発の道として、吹田市長にもお願いし、市役所における保護観察対象者の直接雇用の道を開いて頂きました。当時全国的に珍しい事実で、以後報道や各地に理解と反響を得る事と成りました事を思いだしています。また当時、担当した対象者も、今では、成人して立派な社会人として活躍している事と思っています。

第13代吹田地区保護司会 会長（平成24年（2012年）～　平成30年（2018年））　和　泉　愼　次

新年あけましておめでとうございます。
日頃から更生保護活動に献身的に取り組んで頂いていますことに敬意を表しますと共にご苦労に感謝とお礼を申し上げます。
対象者を取り巻く環境は時代とともに大きく変化してまいりました。例会、研修会等を通して研鑽されますますのご活躍をお祈りいたします。

第14代吹田地区保護司会 会長（平成30年（2018年）～令和２年（2020年））顧問　家　村　武　志

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は、新型コロナウイルスの蔓延で保護司会の例会、理事会、研修会等がことごとく行う事が出来なくなり、保護司会活動も自宅にこもって保護観察対象者に対して電話でしか話が出来ない状態で、処遇する保護観察対象者に対して効果的な指導や支援をする事が出来ない状態でありましたが、やっと昨年の10月に入って自宅で本人と向かい合って面接をすることができる様になり元の状態に戻りつつあります。
コロナは、まだまだ収束しそうにありませんが、皆様も体に気を付けて保護観察活動に頑張ってください。

人　事　往　来

新　任　保　護　司

令和2年5月25日付

信田　敦子

麻生満美子

定年退任保護司

令和２年１月24日付

由佐満雄

髙橋健雄

令和２年９月24日付

松廣屋冨美子

辞任保護司

山本　貞明

（令和２年２月29日付）

地区転出保護司

林　　邦夫

（令和２年３月31日付）

（敬称略、順不同）

編　集　後　記

初めて広報部を担当することになり、その第一号がコロナ禍のために活動が激変してしまいました。校正作業も集まってすることが出来ず、どうなるのかと心配しましたが、大勢の方々によるご寄稿を頂いて完成することができました。厚く御礼申し上げます。また、広報部員の皆さんが、熱い思いで企画された紙面をうれしく思います。この歴史的事件ともいえる事象を前向きに捉え、新たなネット社会にはない保護司会報の紙面造りに取り組んでいきたいと思います。